



図書館つうしん



課題図書とは…

青少年読書感想文全国コンクールにおいて選定された書籍で、小学校から高校まであります。

2025年 課題図書・指定図書

～好きな一冊に出合えるきっかけに～

指定図書とは…

九州・山口各県図書館協議会において選定された書籍で、小学校から中学校まであります。

課題図書 低学年の部



『ライオンのかにのネズミ』
さかとく み雪／作

課題図書 中学年の部



『ねえねえ、なにを見て？』
ピクター・ペルモント／絵・文

課題図書 高学年の部



『ぼくの色、見つけた！』
志津 栄子／作

課題図書 中学校の部



『スラムに水は流れない』
ヴァルシャ・パジャージ／著

課題図書 高校の部



『夜の日記』
ヴィーラ・ヒランダンニ／著

指定図書 低学年の部



『キッチンカーです』
オームラ トモコ／作・絵

指定図書 中学年の部



『ジャージー牛のサンちゃん』
佐和 みずえ／著

指定図書 高学年の部



『かなたのif』
村上 雅都／作

指定図書 中学校の部



『あしたの幸福』
いとう みく／著

選定された本の中から一部紹介しております。
各図書館で取り揃えております。ぜひお立ち寄りください。

英語でもよめる絵本

絵本を通して英語にふれられ学びを得ることができます。

読み聞かせにもおすすめです。



『バムとケロのもりのこや』
島田 ゆか／作・絵



『すてきな三にんぐみ』
トミー・アングラー／作

図書館イベントカレンダー

8月9日(土)

おはなし会 午前11時
国見図書館、くにさき図書館
武蔵図書館、安岐図書館

* 8月の「あかちゃんおはなし会」はやすみです

8月の休館日【毎週月曜日は定期休館日】

8/12(火) 祝日(山の日)の振替

8/29(金) 月末資料整理日(毎月最後の平日)

* 【国見図書館】蔵書点検のため臨時休館します

期間：8月26日(火)～31日(日)

大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします

子ども司書bookレビュー



『52ヘルツのクジラたち』
町田そのこ著

安岐中学校2年 古原 江梨花さん
(大分県子ども司書8期生)

この本は映画化されており、この映画の舞台となったのは、なんと大分県です。この本は、東京からある理由で大分に引っ越してきた三島貴瑚という人物がある少年に出会い、その少年とともに成長し、自分の過去と向き合っていく物語です。ぜひ一度、読んでみてください！

コメント 三島貴瑚はつらい過去をもっており、少年は親から虐待を受けていました。周囲の人に何も伝えることができないという、つらさを抱えた二人が出会い、困難を乗り越えていくとても感動的なストーリーになっています。

蔵書検索はこちら



または↓

国東 図書館

🔍

国見図書館 ☎82-1585
武蔵図書館 ☎69-0946

くにさき図書館 ☎72-3500
安岐図書館 ☎67-3551

こころをつなぐ 人権シリーズ



シリーズ部落差別の問題③

「むら」を歩いて

文責…社会教育課国見地区 石本恭絵

私が参加した、あるフィールドワークで学んだことについて記す。そのときいただいた資料では、被差別部落を「むら」と記している。

18世紀のはじめごろ、「むら」には、祖先が大夫氏家臣であったという家、キリシタンであったという家、大きな神社の清掃をする家、芸能を仕事とする家など、ごくわずかな家があったらしい。周囲の村との交流はあまりなかったとされている。

このころから、地方も貨幣経済が浸透し、貨幣は日常生活に欠く事のできないものとなっていく。年貢米を中心とした武士の生活は次第に困窮し、体制を維持したい幕府が実施した改革によって、被支配層の不満は高まっていた。

天保2年(1831年)に「近來、百姓・町人ども、身分不相応の葬式をいたし、又は墓所へ大造な墓石をつくる者がある。高さ四尺を限り、院号居士などの号をつけるな」という幕府法令がだされたが、「むら人」は黙ってはいなかった。家紋を付けて家の誇りを示し、経済力にまかせて立派な墓石を立てるなど、身分制

度への抵抗姿勢を見せた。実際にご案内いただき、この墓石を見学させていただくことができた。

18世紀後半には、藩が招いた盗賊用心番の人々、皮細工をする人々が移住して来る。藩は、「むら」の人々に死牛馬の処理や刑場・牢屋の仕事をさせるようになった。これにより、ひどい差別を生んだとのことだった。

昭和40年(1965年)、同和対策審議会答申が出され、国が同和問題の積極的解決をすることとなり、同和地区、周辺地区改善の法律が施行となる。対策関連法によって、環境が整備されてきたが、しかし「むら人」に対する差別心は、完全には消えなかった。

今なお残る差別の根源は綿々と存在し、いわれなき差別に苦しむことのない社会へ、私たち一人ひとりが目を背けることなく、正面から差別を正す姿勢を身に付けることの重要性を実体験するものであった。



教育の里 あらかると

国見小学校 水泳授業

今年度から、国見小学校の水泳の授業がB & G国見海洋センターのプールで行われます。6月24日には、国見小学校の5年生、6年生の今年度最初の水泳の授業が行われました。B & G国見海洋センターのプールは、令和5年度に改修工事を終えたばかりで、子ども

たちは広々としたきれいなプールで水泳の授業を受けました。6年生の小谷蘭さんは「授業が楽しい。前より泳げるようになっていた」、5年生の後藤愛海さんは「ケノビがうまくできてうれしい」と感想を述べました。



教育総務課 総務係 ☎73-0066